

信州登山案内人試験 山行履歴書について

1 山行履歴書の主旨

信州登山案内人が安全で楽しい登山を顧客に提供するうえで、最も重要な「安全確保能力」の基となる、豊富な登山経験および登山技術を確認するため。

2 作成にあたっての注意事項

(1) 日付の新しい履歴から記入すること。

(2) 一日あたりコースタイムで概ね4時間以上の登山を記入すること。

(3) 雪山日数は12月～3月の厳冬期に行った、標高1,500m以上の登山を記入すること。

(4) 人工的な岩場、氷柱、ゲレンデ等で行う、各種クライミングは山行履歴に含まないこと。

(5) 職務および通勤に関する山行(例：歩荷(ポッカ)、山小屋業務など)は山行履歴に含まないこと。

(6) グレーディングの該当日数は、「信州山のグレーディング」の体力度4以上または技術的難易度C以上に該当する山行日数を記入すること。

(7) 次の山岳は長野県内には該当しませんので、ご注意ください。

誤記入が多い長野県外の山岳：

剣岳、立山三山、水晶岳、黒部五郎岳、薬師岳、北岳、間ノ岳、荒川岳

「信州山のグレーディング」
こちら

受験する山域ごとに作成してください。
受験する山域以外の履歴については、
「その他」の用紙に記入してください

信州登山案内人試験山行履歴書(記載例)

山岳名	年 (和暦)	月	山行日数 (A)	(A)のうち 長野県内 の日数	(A)のうち 1500m以上 の雪山日数	(A)のうち 受験する 山域の日数	(A)のうち グレーディング の該当日数
高瀬ダム～烏帽子岳～野口五郎岳 ～水晶岳	3	8	5	5	0	5	5
常念岳～蝶ヶ岳	3	7	3	3	0	3	3
唐松岳	3	2	2	2	2	2	2
上高地～奥穂高岳～西穂高岳	2	9	4	3	0	4	3
白沢三股～餓鬼岳～燕岳～中房	2	8	3	3	0	3	3
燕岳	2	1	2	2	2	2	2
上高地～槍ヶ岳	元	10	3	3	0	3	3
乗鞍岳	元	7	1	1	0	1	1
～省略～							
白馬大池～白馬岳～唐松岳	30	9	5	5	0	4	4
室堂～五色ヶ原～薬師岳～折立	30	8	4	0	0	4	0
遠見尾根～五竜岳	30	7			0	3	3
上高地～涸沢～北穂高岳	29	8			0	4	4
唐松岳	29	1	3	3	3	3	3
計	—	—	206	116	30	41	36

(参考)受験資格

登山歴5年以上 200日以上 100日以上 30日以上 30日以上 20日以上